

平成21年度第11回教育研究評議会議事録

日 時 平成22年2月24日(水)
開会 午後3時00分
閉会 午後4時25分
場 所 第1会議室
出席者 学長、高橋理事、佐々木理事、田牧副学長、青木副学長、佐々木教授、鈴木(輝)教授、野矢教授、青山教授、阿部教授、照井教授、高橋地域共同研究センター長、吉田機器分析センター長、亀丸情報処理センター長、山岸国際交流センター長、羽二生技術部長、石川事務局長、柴野教授、山下教授、吉田(公)教授、堀内教授、増田教授、鈴木(一)教授
欠席者 小野理事、榮坂教授、庄子未利用エネルギー研究センター長、鈴木(正)教授
陪 席 土岐監事、高松監事

議事に先立ち、平成21年度第10回教育研究評議会議事録が異議なく確認された。

議 事

議 題

1 教員の選考について

(1) マテリアル工学科教授(機能有機材料)の選考について

学長から、本件については、選考委員会から選考結果について報告があった旨説明があり、選考委員会委員長の阿部教授から別紙(資料1-1~1-2)に基づき、選考の経過及び結果について報告があった。

引き続き、教育研究評議会規程第7条第2項の規定に基づき可否投票を行った。投票の結果、渡邊眞次氏が教授適格者として承認された。

(2) マテリアル工学科教授(機能金属材料)の選考について

学長から、本件については、選考委員会から選考結果について報告があった旨説明があり、選考委員会委員長の阿部教授から別紙(資料2)に基づき、選考の経過及び結果について報告があった。

引き続き、学長から選考委員会において、選考に至らなかったことから、選考委員会の任務は完了したものとする旨提案があり、異議なく承認された。

(3) マテリアル工学科教授(機能材料物性)の選考について

学長から、本件については、選考委員会から選考結果について報告があった旨説明があり、選考委員会委員長の阿部教授から別紙(資料3-1~3-2)に基づき、選考の経過及び結果について報告があった。

引き続き、教育研究評議会規程第7条第2項の規定に基づき可否投票を行った。
投票の結果、川村みどり氏が教授適格者として承認された。

(4) 社会環境工学科助教の選考について

学長から、本件については、選考委員会から選考結果について報告があった旨説明があり、選考委員会委員長の山下教授から別紙（資料4-1～4-3）に基づき、選考の経過及び結果について報告があった。

引き続き、教育研究評議会規程第7条第2項の規定に基づき可否投票を行った。
投票の結果、山崎新太郎氏が助教適格者として承認された。

(5) バイオ環境化学科助教の選考について

学長から、本件については、選考委員会から選考結果について報告があった旨説明があり、選考委員会委員長の青山教授から別紙（資料5-1～5-3）に基づき、選考の経過及び結果について報告があった。

引き続き、教育研究評議会規程第7条第2項の規定に基づき可否投票を行った。
投票の結果、霜鳥慈岳氏が助教適格者として承認された。

(6) 電気電子工学科助教の選考について

学長から、本件については、選考委員会から選考結果について報告があった旨説明があり、選考委員会委員長の平山教授から別紙（資料12-1～12-3）に基づき、選考の経過及び結果について報告があった。

引き続き、教育研究評議会規程第7条第2項の規定に基づき可否投票を行った。
投票の結果、佐藤慎悟氏が助教適格者として承認された。

2 大学院担当教員の選考について

(1) 機械システム工学専攻、システム工学専攻

学長から、本件については、平成22年2月15日開催の役員会の議を経て提案する旨報告があり、大学院担当教員の選考について、別紙（資料6-1～6-4）に基づき説明の後、可否投票を行った。

投票の結果、4人全員が大学院担当教員(M合)として承認された。

なお、うち1人については、平成21年3月17日開催の教育研究評議会で教員選考について審議した際に、実質的に大学院担当の資格審査を行っていることから、可否投票を行わずに大学院担当教員(D合)として選考したい旨の説明があり、異議なく承認された。

3 平成22年3月31日で任期満了となる教員の再任審査について

学長から、本件については、教員再任審査委員会から平成22年3月31日で任期満了となる教員の再任に係る本審査の結果について報告があった旨説明があり、審査委員会委員長の高橋理事から別紙（資料7）に基づき、審査の経過及び結果について報告の後、任期制教員の再任審査に関する申し合わせに基づき、可否投票を行った。

投票の結果、8人全員の再任が承認された。

なお、本件については、平成22年3月1日開催予定の役員会に付議することが併せて承認された。

4 特任職員の選考について

学長から、本件については、地域共同研究センターから特任職員の雇用に関する申し出があった旨説明があり、別紙（資料8）に基づき候補者について説明の後、多田旭男氏を特任教授として継続雇用したい旨提案があり、異議なく承認された。

5 国立大学法人北見工業大学と大学共同利用機関法人情報・システム研究機構

国立極地研究所との連携・協力に関する協定締結について

学長から、本件については、平成22年2月3日開催の地域連携推進委員会の議を経て提案する旨説明の後、青木副学長から、別紙（資料9）に基づき、国立大学法人北見工業大学と大学共同利用機関法人情報・システム研究機構国立極地研究所との連携・協力に関する協定書（案）について説明があり、異議なく承認された。

なお、本協定については、本学において4月中に締結式を行う予定であり、締結日はその当日を予定していることが併せて承認された。

6 教員の人事について

学長から、本件については、岡山大学から社会環境工学科の永禮英明准教授を平成22年4月1日付けで採用することが決定した旨の連絡があり、本人及び学科と協議した結果、了承した旨報告があった。

引き続き、本定員の取扱いについて、平成22年2月15日開催の役員会の議を経て提案する旨説明の後、社会環境工学科の専門分野で補充したい旨提案があり、異議なく承認された。

報告事項

- 1 平成21年度共同研究の受入れについて（資料10）（研究協力課長）
- 2 平成21年度奨学寄附金の受入れについて（資料11）（研究協力課長）
- 3 特別な支援を必要とする学生の早期発見について（資料13）（学生支援課長）

学生支援課長より、人間関係のトラブル等の理由から不登校、長期間の引きこもりに陥りそうな学生を早期発見し、問題が深刻化する前にカウンセラーとも連携して適切な支援をしていくため、授業を長期欠席しているなど、気になる学生がいる場合、学生支援課に連絡してほしい旨依頼があった。

次回教育研究評議会開催日 平成22年3月16日（火）午後3時開催予定